

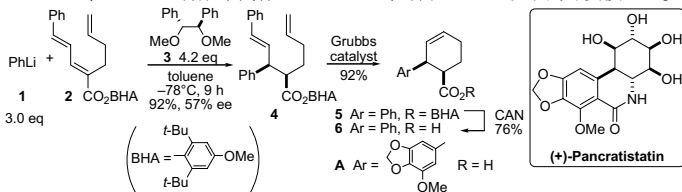
30【P1】I -008

キラルジエーテル配位子制御による不斉共役付加反応を鍵工程とする Pancratistatin
の合成研究

○茨本 千加子¹, 山田 健一¹, 富岡 清¹(¹京大院薬)

【目的】当研究室ではすでに、キラルジエーテル配位子 **3** を用いた α 、 β 不飽和エステルへの有機リチウムの不斉共役付加反応を開発し、dopamine D1 agonist の不斉全合成への応用に成功している¹。今回更なる応用研究として、抗腫瘍活性を持つ Pancratistatin の合成研究を開始した。

【実験・結果】キラルジエーテル配位子 **3** とフェニルリチウム **1** のトルエン溶液に、不飽和エステル **2** のトルエン溶液を -78°C で滴下した。反応は 9 時間で完結し、付加体 **4** が 92% 収率、57% ee で得られた。**4** を閉環メタセシスと、続く BHA 除去により、Kim らの合成中間体 **A**² のモデル化合物 **6** へと収率良く変換した。



(1) *Tetrahedron Lett.* **2001**, *42*, 8493.

(2) Kim, S.; Ko, H.; Kim, D. *Org. Lett.* **2002**, *4*, 1343.